

科目名	保健医療福祉の仕組み					DP5、 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 保健医療福祉の仕組み	時間数	25時間	担当 教員	外部講師・専任教員
科目概要	超高齢・少子社会、保健医療においては病院完結型から地域完結型への転換など、これからの社会変化を見通した保健医療福祉関連制度の知識は看護職者にとって重要である。ここでは、医療従事者として社会背景の変化を捉え、保健医療福祉職の連携・協働に活用できることを目的として保健医療福祉の全体像を学ぶ。						
到達目標	1. 医療の制度や医療の対策を理解することができる。 2. 公衆衛生の概念や地域で行われている保健活動の基本的な内容を理解することができる。 3. 社会福祉の概念や社会福祉の制度について基本的内容を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～3	健康と保健・医療・福祉	1. 健康をまもるしくみ 疾病の要因、疾病の予防、疾病の治療と療養、 疾病からの回復、生活をまもるしくみ				講義	外部講師
	医療のしくみ	1. 医療とは 医療の歴史、これからの医療 2. 医療を提供するしくみ 医療施設、医療計画、医療関係職、分野別の医療 提供、医療安全対策 3. 医療を保障するしくみ 医療保険制度、後期高齢者医療制度、公費負担医 療 4. 国民医療費の動向 年次推移、医療費の内訳、医療制度改革				講義	外部講師
4～6	公衆衛生と保健のしくみ	1. 公衆衛生・保健とは 公衆衛生・保健の定義、公衆衛生・保健の誕生 と発展、公衆衛生・保健の現状と課題 2. 人口と衛生・健康の指標 人口静態、人口動態、生命表、その他の重要な 統計指標 3. 保健活動 衛生行政と地域保健、母子保健、学校保健、成 人保健、老人保健、精神保健、産業保健、難病 保健 4. 環境と食品衛生 環境と健康・生活、公害と地球環境問題、食品 の安全 5. 感染症の対策 感染症の動向と対策、公衆衛生上の重要疾患、 検疫と予防接種				講義	外部講師
7～ 12	社会保障と社会福祉のしくみ	1. 社会保障・社会福祉の概念 社会保障とは、社会保障の機能、 2. 社会保障の歴史 17～18世紀、19世紀、20世紀 3. わが国の社会保障制度 第二次世界大戦後、高度経済成長期、安定成長 期、経済停滞期 4. 社会保険 医療保険、年金保険、介護保険、労働（労災・雇 用）保険 5. 公的扶助 生活保護制度、社会手当、 6. 社会福祉 高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、母子・父 子・寡婦福祉 7. フィールドワーク（施設見学・まとめ・発表） <8h>				講義  フィールド ワーク	専任教員
13	試験	(1時間)				試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学4 保健医療福祉のしくみ 看護と法律 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							